

contents

目次

- はじめに 01
- さっぽろまちづくり
スマイル企業とは？ 01
- こんな企業が対象になります
こんな活動が対象になります 02
- 認定企業紹介**
- 株式会社三五工務店 03
- 株式会社ローソン 05
- 札幌ヤクルト販売株式会社 07
- 登録～認定・表彰までの流れ 09
- よくある質問 10
- 表彰企業紹介**
- ゴールド企業
北海道コカ・コーラボトリング株式会社 11
- シルバー企業
北土建設株式会社 13
- 杉原建設株式会社 15
- 株式会社札幌ドーム 17
- 市民文化局長表彰
株式会社札幌ロードメイク 19
- 新太平洋建設株式会社
勇建設株式会社 20
- 株式会社田中組
大同舗道株式会社 21
- 荒井建設株式会社札幌支店
丸彦渡辺建設株式会社 22

はじめに



近年、少子高齢化や核家族化など社会情勢が大きく変化しており、札幌市の人口も今後、減少に転じることが見込まれています。こうした時代を迎えるにあたり、誰もが安心して暮らしていける街を実現するためには、企業の方々の地域社会への積極的な働きかけがとても重要となります。

札幌市では、こうした取組を支援するため、企業の地域に根差したまちづくり活動に積極的に取り組む企業を「さっぽろまちづくりスマイル企業」(以下、「スマイル企業」)として認定する「さっぽろまちづくりスマイル企業認定制度」を令和元年7月からスタートいたしました。

スマイル企業の活動を広く知っていただくことで、スマイル企業と地域のみなさんとのつながりが深まるとともに、より多くの企業の方々が地域の一員として札幌市のまちづくりへ参加いただくきっかけとなれば幸いです。

さっぽろまちづくり スマイル企業とは？



札幌市のまちづくり活動に 積極的に取り組む企業を認定します!!

札幌市では、一年度間に一定基準の地域のまちづくり活動に積極的にご協力いただいている企業を「さっぽろまちづくりスマイル企業」として認定しています(認定基準等の制度の概要はP.2、P.9、P.10参照)。

本制度により、スマイル企業として認定されると、認定企業のまちづくり活動を札幌市公式ホームページで周知するほか、認定証や企業のPRに利用可能な認定マークの付与、活動実績に応じた各種表彰を行っています。



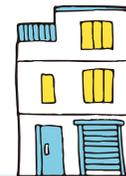
認定マーク

まずは、地域と顔の見える関係づくりから始めませんか？

こんな企業が対象になります

以下の条件を満たす企業又は事業所が対象です。

- 1 営利を目的とした企業又は当該企業を構成員とする営利を目的とした任意団体、協同組合。
- 2 札幌市内に所在する企業又は事業所(本社が札幌市になくても可)。
※本社(支社)もしくは事業所単位のどちらかでお申込みください。(両方の申込みはできません)
- 3 札幌市内で継続して1年以上の事業の実績があること。
- 4 市税、法人税並びに消費税及び地方消費税を滞納していないこと。



次に該当する企業又は事業者は、登録の対象となりません

- 法令などに抵触する恐れのあるもの。 ●公序良俗に反する恐れのあるもの。 ●政治性、宗教性があるもの。
- 民事再生法及び会社更生法による再生または更正の手続き中のもの。
- 事業に関して法令に違反し、国又は地方公共団体から行政処分を受け、当該処分が解除されていない企業。
- 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条2号に規定する暴力団又は札幌市暴力団の排除の推進に関する条例(平成25年条例第6号)第7条第1項に規定する暴力団関係事業者。
- 本市が登録しないことが適切と認めるもの。

こんな活動が対象になります

営利を主な目的としない企業の公益的な活動のうち、地域のまちづくりに関する活動が対象です。

- 1 札幌市が実施する制度や取組、イベントへの連携・協力・寄付・協賛。
- 2 町内会や地域の実行委員会、札幌市が中心となっている組織委員会等が実施する取組やイベントへの連携・協力・寄付・協賛。
- 3 上記1、2以外の企業が独自に取り組む活動については、営利と関係せず地域に直接貢献したと社会的に認められる活動。
(札幌市内で行なわれ、札幌市民の参加・利用実績がある活動が対象です)



項目	活動例
①地域コミュニティ	地域コミュニティや地域のまちづくり活動への積極参加やイベント等への寄付・協賛、地域活動を行う場の提供、福祉除雪等の除雪ボランティア等
②防犯・防災・安全	防犯活動、消費者トラブルの未然防止に関する活動、交通安全運動、冬の砂まき・消火栓除雪、消防や防災に関する活動、これらの分野にかかるイベント等への協力・寄付・協賛等
③環境	ゴミ拾い、植花・維持管理、エコ活動、環境に関するイベント等への協力・寄付・協賛等
④子ども・子育て	子育て支援に関する活動、職場体験受入、学校へ講師派遣、虐待防止に関する活動、子ども・子育てに関するイベント等への協力・寄付・協賛等
⑤健康・福祉	高齢者や障がい者に関する見守りや社会福祉に関する活動、健康増進・食育に関する取組、これらの分野にかかるイベントやセミナーへの協力・寄付・協賛等
⑥産業・文化・活力	スポーツ・文化の振興、シティプロモート、産業振興に関する活動、ワークライフバランスや男女共同参画等に関する活動、これらの分野にかかるイベント等への協力・寄付・協賛等
⑦広報協力	パンフレット配架やポスター掲示等の広報協力
⑧その他	①～⑦以外に地域に貢献したと社会的に認められる社会貢献活動

具体的な活動例についてはさっぽろまちづくりスマイル企業認定制度のホームページをご覧ください。

さっぽろスマイル企業 検索

★札幌市が実施する制度や取組のうち、助成金の交付や企業の採用に関する取組など、企業の本来的な活動を支援するための制度・取組への連携・協力は、本制度で認定する活動の対象外です。

暮らしづくりを通して 幸せを創る「幸夢店」

SANGO

さんご

株式会社三五工務店

住所 札幌市北区北34条西10丁目6-21
業種 建設業
設立 昭和33年 **従業員数** 40名 **認定** 2020年5月
<https://www.kk35.jp>

道産木材にこだわる家づくりと地域に 密着した活動で恩返しを

代表取締役
田中 裕基さん

(株)三五工務店では家づくりに留まらず、地域や北海道がより豊かに幸せになるような地域貢献活動を行っています。清掃や除雪、森林保全活動のほか近隣の小中学校と連携しながら大工の出前授業や講話、職場体験の受け入れなど次世代の育成にも力を注いでいます。



大工の出前授業では真剣な眼差しで釘打ちに挑戦する姿も



森林清掃ボランティアで木が育つための環境を整備する

地域に根ざした工務店として 未来のために今できることを



(株)三五工務店が続けている活動のひとつに「職場体験」があります。この2年ほどはコロナ禍により中止を余儀なくされていますが、札幌市立北陽中学校の生徒を2013年から継続して受け入れています。設計プランニング体験など、参加する生徒に合わせて毎年担当者が独自のプログラムを組み、住宅ができるまでの仕組みや仕事の意義、大切さを伝えてきました。

昨年9月に過去の職場体験に参加した元生徒から、進路相談のメールが届きました。当時の職場体験をきっかけに建設業界に興味を持ち、将来は同社への就職を希望しているという内容で、代表の田中さんは嬉しさと共に活動の意義を強く感じたと話します。「社員と喜びを共有しました。子どもたちの将来に貢献するため、職場体験はぜひ続けたい」と語りました。



仕事内容だけでなく同社の想いや情熱も伝える職場体験



「KIMUN KAMUY WATER」の売り上げの一部は森林保全活動に活用

木、自然、北海道を愛する地域工務店として、良質で心地よい道産木材を使った家づくりにこだわる同社では、「豊かな自然を次世代に残すため」「家をつくることで自然を作るため」に森林サイクルに合わせて木を伐採し、家づくりが森林破壊につながることなく自然が循環するよう環境整備の手伝いをしています。田中さんと社員は時間を見つけて森を訪れ、清掃などの森林保全活動のボランティアに参加しています。

ナチュラルミネラルウォーター「KIMUN KAMUY WATER」もそんな想いから生まれた商品のひとつ。北海道の自然を味わいながら守るため、売り上げの一部を森林保全活動に活用しています。こうした多岐にわたる活動に共通するのは「地域を豊かにすることで、北海道に貢献する」という同社の強い想いです。

POINT

地域の小学校と連携し次世代の育成を支援する

大工の出前授業で「なり手不足」解消にも貢献を

地域の青少年の健全な育成に向けた社会体験、子どもたちが建設業に興味を持つきっかけづくりとして、(株)三五工務店では札幌市立和光小学校で大工さんの出前授業を実施しています。工作キットや同社が用意した端材などを使用して、同校3年生が図工の時間に思い思いの作品づくりをしました。職人の技術紹介をする中で、釘を使わずにつながる「仕口・継手」をどう外すかという大工さんからの問題に、協力してカー一杯外そうとする場面も。子どもたちは工作に取り組みながら、釘打ちのアドバイスをもらうなど大工さんとの交流を楽しみました。

長く受け継がれてきた熟練大工の技や職人の心を次世代に伝えたいという想いから、若い大工の育成も同社の使命のひとつです。「出前授業が『なり手不足』解消にもつながれば」と田中さんは話します。「子どもたちの自由な発想に刺激を受けました。地域への恩返しの気持ちを忘れず、このような活動を大切に続けたい」と話してくれました。



大工さんによる釘の打ち方レクチャーに子どもたちは興味津々



私たちは
“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。

左:北海道営業部長 田村 和嗣さん 右:北海道商品部長 高橋 直征さん

LAWSON

株式会社ローソン

住所 札幌市北区北7条西2丁目8番1札幌北ビル5F
業種 卸売業・小売業 **設立** 昭和50年4月
従業員数 10,385人(連結) **認定** 2020年5月
<https://www.lawson.co.jp/index.html>

「マチのほっとステーション」を目指し
地域に寄り添う企業へ



北海道エリアサポート部
東北エリアサポート部
兼 SDGs推進部
法理 伸夫さん

ローソングループではSDGsの推進・達成に向けて環境に配慮した事業活動を行うとともに、地域社会との共生と持続可能な発展を目指し積極的な取り組みを行なっています。地域社会に思いやりをもって、次世代の子どもたちの育成を応援する活動にも注力しています。



SDGsに向けた取り組みの一環として「フードドライブ」を実施



オンラインで活気あふれる授業が展開された「夢の教室」

SDGsへの貢献につながる
「マチを幸せにする」ためのさまざまな取り組み



㈱ローソンでは、“マチ”の役に立つための取り組みを積極的に進めています。例えば、北海道産米を使用したおにぎりなど、地元食材を使った商品を開発し、地産地消と地産外消を進めて、地域活性化および地域との結びつきを深めています。

また、身近にできるSDGsの取り組みとして、同社北海道エリアオフィスで「フードドライブ」を実施し、集まった食品や日用品などを特定非営利活動法人フードバンクイコロさっぽろに寄贈しました。フードドライブとは、各家庭で使いきれない未使用食品などを持ち寄り、地域の福祉施設やフードバンクなどの団体に寄贈する活動で、寄贈品は支援を必要とするひとり親家庭世帯への提供など、地域社会に対する支援活動に活用されます。



同社が実施した「フードドライブ」で集められた寄贈品



元アイスホッケー女子日本代表の平野由佳さんが「夢先生」に

他にも「子どもたちの未来のために」をコンセプトに、さまざまな社会貢献活動にも取り組んでいます。その一環として支援を行う「JFA ころのプロジェクト『夢の教室』」は、公益財団法人日本サッカー協会が運営するプロジェクトで、アスリートなどから子どもたちに夢を持つことの大切さを伝えるものです。

2021年度の「ローソン『夢の教室』」は、コロナ禍のためオンラインでの授業となりました。法理さんは「オンラインのためコミュニケーション面に不安がありましたが、先生のおかげで徐々に緊張がほぐれ、双方向性のある魅力的な授業になったと思います」と話します。元アイスホッケー女子日本代表の平野由佳さんが「夢先生」として自身の経験を踏まえ、好きなことに挑戦することの大切さなどを語りました。同社は子どもたちの夢をこれからも応援していきます。

POINT

地域の若い世代の斬新なアイデアをかたちに

高校生とベーカリーを共同開発！次世代に夢と経験を

地域に密着した取り組みのひとつとして、㈱ローソンは地元学生と新商品を共同開発しました。令和3年12月に、北海道札幌東商業高等学校の生徒と共同開発したベーカリー2品を発売。「私、焼きうどんです。」「あなたはどっち派？甘酸っぱい恋orほろ苦い恋(苺ジャム/チョコ)」と名付けられたベーカリーは、北海道エリアのローソン679店舗(令和3年10月末時点)で販売されました。発売初日には同校生徒がローソン店舗で店頭販売を行い、参加した生徒は「自分たちが時間をかけて作った商品が並んで嬉しい。販売初日は緊張感があった」と感想をくれたそうです。

今回の共同開発では同校マーケティング部の生徒が開発に参加しました。コロナ禍のため打ち合わせのほとんどがリモートでの開催となりましたが、丁寧なやりとりを経て着実に企画が進められました。法理さんは「高校生の斬新なアイデアや新鮮な発想が、社員の刺激になりました」と語ってくれました。



共同開発を行なった生徒とともに市役所に訪問し記念撮影



地域の健康と 安心で安全な生活づくりのために

人も地球も健康に

Yakult

札幌ヤクルト販売株式会社

住所 札幌市中央区大通西6丁目大通公園ビル

業種 卸売業・小売業 **設立** 昭和31年

従業員数 135名 **認定** 2021年5月

<https://sapporo-yakult.com>

健康で平和な明るい生活を営めるよう 力の限り地域社会に貢献

札幌ヤクルト販売(株)では、幅広い世代に健康のための正しい知識をわかりやすく伝えるため、出前授業や健康セミナーを実施しています。また、高齢者・障がい者の見守り活動や清掃活動など、地域に根ざした社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

広報室 次長
田村 圭さん(上)

広報室
管理栄養士・栄養教諭
杉村 久瑠実さん(下)



札幌方面豊平警察署とともに交通安全啓発運動を実施



冬期間を除き、毎月1回市内53ヵ所で行う清掃活動

「食育」「健康」をテーマに、 幼児から高齢者までわかりやすく伝える



札幌ヤクルト販売(株)では、札幌市食育サポート企業等^{*}に登録し、幅広い世代に対し健康をサポートするための出前授業やセミナーを実施しています。幼児向け出前授業では紙芝居を使って、おなか元気になるための「5つのおやくそく」について話します。おなかをさらに元気にするためのダンスを踊り、希望があれば給食やおやつ時間に飲んでもらえるよう「ヤクルト」のプレゼントも。

小中学校では「おなか元気教室」と題してさらに詳しい授業を行います。腸の模型を引き伸ばして長さを確認するなど体験を取り入れながら消化管の働きについて学び、おなかの中の菌や生活リズムについて理解を深めます。授業を担当する社員は、年代や理解度に合わせた伝え方を工夫し細かな調整を行っています。



出前授業で腸の模型を手にその長さに驚く子どもたち



落語家の桂三段氏とコラボした健康教室&落語イベント

地域住民や企業などを対象に実施している健康セミナーでは、「健康長寿」をテーマに腸を丈夫にすることの重要性と健康の関わりについて説明します。腸の模型や腸内細菌の動画などを用いて、消化管の働きや腸内フローラ、免疫について話し、「ヤクルトおなか体操」を取り入れながら、健康の大切さについての理解を深めてもらいます。

また、同社では笑い与健康との関わりに注目し、落語とのコラボレーションにも取り組んでいます。健康セミナーを実施したのち、プロの落語家・桂三段氏による「健康落語」が楽しめるプログラムで、楽しみながら健康について学びます。現在は、町内会や病院などから依頼を受けて実施しています。田村さんは「楽しくおなかの底から笑える落語とともに、健康に関する知識を深めていただけたら嬉しい」と話しました。

POINT

新たな展開を見据えたオンラインでの出前授業

「オンラインおなか元気教室」で学ぶ子どもたち

セミナーなど対面でのイベント実施が難しい状況が続くことから、札幌ヤクルト販売(株)では新たな挑戦として、オンラインシステム「Google Meet」を活用した出前授業「オンラインおなか元気教室」を実施しました。

実施にあたっては、事前に同社と札幌市立西野小学校との間で綿密な打合せを行い、当日は各クラスの担任教諭にもご協力をいただきました。同校の3年生から6年生に対して行われた各35分ほどの授業では「おなか博士になろう」などのテーマごとに、クイズを交えつつ説明を行いました。児童たちはしっかりと集中しながら、消化管の働きなどについて楽しく学ぶことができました。杉村さんは「今回の事例をもとに札幌ヤクルトエリア全体で『オンラインおなか元気教室』を推進していきたい」と前向きに話しました。



1人1台の端末を使用し、集中して出前授業に取り組む児童

^{*}札幌市食育サポート企業等

札幌市の進める「食育」に賛同し、社会活動として食育を推進していただける企業等を登録する制度。
【お問い合わせ】札幌市保健福祉局保健所健康企画課 (TEL:011-622-5151)

札幌市食育サポート企業等 検索



登録～認定・表彰までの流れ



認定は年度ごとに行います。翌年度も登録・認定・表彰を希望する場合は、更新手続きと実績報告が必要です。

1 登録申込 2年目以降は更新手続き

- 登録申込は活動を行う年度の3月末まで受付します。
- ご登録いただいた企業名は札幌市ホームページへ掲載します。
- ご登録いただいた内容は札幌市役所・各区役所・まちづくりセンター内で共有させていただきます。

2 まちづくり活動へ参加・協力 各年度毎(4月～3月)

- 札幌市のまちづくり活動へ参加・協力ください。
- ご登録いただいた内容に基づき、札幌市役所・各区役所・まちづくりセンターから参加・協力の依頼をする場合があります。

3 活動内容の報告 随時～翌年度4月末まで

- 活動報告書をご提出ください(別途活動状況がわかる書類を提出していただく場合もあります)。
- ご報告いただく活動は、当該年度のものであれば登録申込前の活動も対象となります。

4 認定 認定期間は翌年度3月末まで

- 活動報告書に基づき、「さっぽろまちづくりスマイル企業」としての基準を満たしたと検討委員会にて認められた場合は、随時認定いたします。
- 認定期間は活動を行った年度の翌年度3月末までです。
(例)2022年度(2022年4月～2023年3月)に活動した場合、2023年度末(2024年3月末)までの認定となります。
- 各企業の活動状況は随時札幌市ホームページで紹介します。

5 表彰及び認定ランクの付与

- 検討委員会にて表彰及び認定ランクの付与対象企業を決定します。
- 認定ランク(ゴールド企業またはシルバー企業)は付与した年度を含め3年度末までが有効期間です。
(例)2024年度に付与された場合、2026年度末(2027年3月末)まで有効
- 有効期間が経過した後においても活動状況に応じて再度認定ランクを付与します。

さっぽろまちづくりスマイル企業認定制度ホームページ

<https://www.city.sapporo.jp/shimin/support/csr/smile/> さっぽろスマイル企業 検索



よくある質問



どれくらい活動したら認定される?

従業員数(パート・アルバイト含む)によって認定となる基準が異なります。

従業員数	認定基準	必須条件
100人以上	年間7活動以上	区役所や町内会等の地域の団体と連携した活動については、寄付・協賛以外の活動に2つ以上ご参加ください。
100人未満	年間5活動以上	

※従業員数は、申込みいただいた単位(本社(支社)もしくは事業所)における札幌市内の人数が適用になります。
※認定の基準は上記のとおりですが、検討委員会にて活動内容を総合的に判断し、認定の可否を決定します。

認定を受けるメリットは?



- 1 認定証・認定マークを付与します。(認定バッチもご購入いただけます)
- 2 札幌市ホームページ等で認定企業として活動実績を広報します。
- 3 まちづくり活動に特に積極的に取り組んでおり、その功績が顕著で他の模範と認められる企業には表彰を行います。表彰を受けた企業へは「ゴールド企業」「シルバー企業」として認定ランクを付与します。

がんばれば表彰される?

札幌市のまちづくり活動に特に積極的に取り組んでおり、その功績が顕著で他の模範と認められる企業に対して表彰を行います(希望企業のみ)。表彰については、活動の内容や回数等を基に検討委員会により決定します。

表彰	認定ランク	1年間に実施する活動の目安		実施期間
		従業員数100人以上	従業員数100人未満	
市長表彰	ゴールド企業	年間60活動程度	年間40活動程度	3年以上継続
	シルバー企業	年間30活動程度	年間20活動程度	
市民文化局長表彰	—	年間15活動程度	年間10活動程度	

次のページから2021年度の表彰企業をご紹介します



北海道コカ・コーラボトリング株式会社 *Coca-Cola*

住所 札幌市清田区清田1条1丁目2番1号
 業種 製造業 設立 昭和38年1月
 従業員数 395名(グループ1,259名) 認定 2019年9月
<https://www.hokkaido.ccbc.co.jp/index.html>

★ どさんこ企業として、いまできることを ★

地域や環境をめぐる課題と向き合い 「北の大地とともに」歩む



広報・サステナビリティ推進部
地域連携責任者 部長
鈴木 大介さん

「さわやかさと潤いを提供し、道民の皆さまから愛され続ける企業」を目指す北海道コカ・コーラボトリング(株)。「サステナブルな社会・経営」の実現に向けて、安心して安全な地域づくりを応援する取り組みなど、市民に寄り添った多様な活動を続けています。



北海道で流通する自社製品のほとんどを製造する札幌工場

「い・ろ・は・す 天然水」の水源でもある白旗山で植樹活動



comment サステナブルな視点を持ってさまざまな角度から市民の生活をサポート

環境保全活動

北海道コカ・コーラボトリング(株)は「北の大地とともに」をスローガンに、どさんこ企業としてサステナブルな視点を持ちながら、環境問題や地域課題の解決に向けた取り組みを続けています。

例えば「い・ろ・は・す」の水源でもある清田区の白旗山では、植樹を実施しています。山や森の豊かな自然を守ることで美しい水が将来にわたって循環し続けることを願って、長く続けている活動です。また、清田区のシンボルのひとつ、厚別川では清掃活動とともに「リバーコーミング」を実施しています。河川付近の清掃を行うと同時に、集めた河川ごみを分類・分析して、自社資材を改良するための研究に役立てています。



厚別川を清掃し河川ごみを研究に活かす「リバーコーミング」

新型コロナウイルス感染症への取り組み

同社では、新型コロナウイルス感染症に関しても積極的な取り組みを行っています。北海道内の児童養護施設全23施設への不織布マスク30万枚の寄贈や、北海道庁、道立施設、札幌市役所・各区役所の庁舎内に抗菌・抗ウイルス施工を実施するなど、市民がより安心して生活できるようサポートしました。また、道内のフードバンク10団体を通じて製品寄贈を行い、地域の子ども食堂や生活困窮者支援団体などへの支援を行いました。

近年は、オンラインでの取り組みにも注力しています。小学校の社会科学習向け「オンライン工場見学」は対象範囲を拡大し、より多くの団体が利用できるようリニューアル。小学校の冬休み時期には、YouTubeでオンライン工場見学などの動画を公開しました。製造現場の映像や、同社製品で作るノンアルコールカクテル「モクテル」の作り方紹介など、自由研究に活用してもらえるような工夫をしています。



「オンライン工場見学」はより多くの団体が利用できるように

POINT

豊かな自然を未来に 「北海道e-水プロジェクト」

“100%リサイクルペットボトル”で環境負荷を低減

北海道コカ・コーラボトリング(株)では、北海道の豊かで美しい「水」を中心とした自然環境を守り次世代へと引き継ぐことを目的とする「北海道e-水プロジェクト」に取り組んでいます。事業者、行政などが協働するプロジェクトで、同社ではその一環として、販売している北海道の天然水「い・ろ・は・す 天然水 555mlPET」の売り上げの一部を(公財)北海道環境財団に寄付し、道内各地域で水辺の環境保全活動に取り組む団体や流域ネットワークの活動を支援しています。プロジェクトは令和3年に12年目を迎えました。

「い・ろ・は・す 天然水 555mlPET」は、同社札幌工場の地下から汲み上げられた天然水を使用しています。札幌市清田区南西方向にある白旗山方面から、長い年月をかけてゆったりと深い地下を流れてきた水で、厳しい品質管理を経て私たちの手に渡ります。“100%リサイクルペットボトル”を使用し、ペットボトル1本あたりのCO²排出量を60%削減するなど、環境に配慮した製品です。



リサイクルペット素材を100%使用した同社のペットボトル



ほくど
北土建設株式会社

住所 札幌市中央区南10条西14丁目1番18号
業種 建設業 設立 昭和29年2月
従業員数 64名 認定 2019年9月
<http://www.hokudo-c.co.jp/>



★「技術と信頼」をモットーにインフラ整備を行う★



総務部庶務担当課長 薄田 将人さん
営業部課長代理 鳴海 憲吾さん

札幌市や北海道、開発局が発注する土木工事に特化した公共事業を請け負う

昭和29年に創業以来、道内の社会資本整備を実施。「技術と信頼」をモットーに、地域づくりと社会環境づくりを担う。道路・河川・上下水道工事を主な守備範囲に、伝統的に道路と河川工事を得意とする。その経営理念は「会社の繁栄を通じ、社会に貢献する」。



札幌市の定山溪地区、さっぽろ湖にかかる橋長361mの木挽大橋

道道1号、小樽定山溪線にかかる木挽大橋の補修では、主に耐震補強工・ひび割れ補修工・断面修復工を施した



環境美化と福祉除雪、地域行事への協力の3分野をできる範囲で行う

環境美化活動

まちづくり活動をはじめたきっかけは、経営理念にあるとおり「会社の繁栄を通じ、社会に貢献する」を具現化することによります。地域の社会資本整備を行う会社として、業務に余裕のある範囲内で地域に貢献できることを模索してきました。その結果として、当社では「環境美化」「福祉除雪」「地域行事への協力」の3つの分野でまちづくり活動を行なっています。

環境美化に関しては「中央区道路環境美化活動(アダプト・プログラム)」の活動があります。4月から10月までの月1回、会社の周辺・中央区山鼻地区を4つの区画に分けて清掃を行います。当社の関連会社の社員と一緒に10~20人が参加。平日の午前中に30分程度行っています。この活動はもう14年続けていますが、落ちているごみはだんだん少なくなった印象があります。ごみ拾い活動中、住民に声をかけられたことがありました。「あその道路舗装が傷んでいるのでどうにかありませんか」と。その際は、住民に代わり札幌市の担当部署へ連絡したこともありました。



おそろいの青いブルゾンを着用して清掃活動

地域貢献活動と除雪ボランティア

当社受注の施工現場周辺地域でも地域貢献活動などを実施しています。今年度、清田区では札幌市立清田小学校のモニュメント補修や門扉の塗装塗替え、町内会主催の草刈り作業、南区では札幌市立定山溪中学校敷地内にある樹木の伐木などの地域貢献活動を行いました。また、南区の木挽大橋工事ではさっぽろ湖第二展望台に、市民が利用できる休憩所と簡易トイレを設置。観光客に定山溪を知ってもらうために資材置き場に幅7mのPRパネルも設置しました。

福祉除雪^{*2}では、6人が当番制でローテーションしています。ドカ雪の時などは時間もかかり大変ですが、いい運動だと思って取り組んでいます。通常この制度は有償ボランティアですが、当社の場合は、全額を「社会福祉法人北海道いのちの電話」に寄付しており、無償のボランティアとして取り組んでいます。

これらの活動は天気によって左右されることもあり、社員のスケジュール調整が大変です。しかし、公共事業を行う企業として、地域貢献はできる範囲で継続していきたいと考えています。



複数人のチームで福祉除雪にあたる

POINT

地域行事への協力として小学校のグラウンド整備

運動会前に塩化カルシウムを散布し防塵対策を実施

2021年度の活動のメインは、中央区にある札幌市立幌西小学校のグラウンド整備です。運動会前グラウンドに土埃が立たないようにするための防塵対策を施しました。当社で保有する散布機やスコップを持ち込み社員12人で2時間ほどかけて、塩化カルシウムを小学校のグラウンド一面全部に散布しました。これまでは学校側が行っていた作業でしたが、当社から申し出て実施し、学校側から大変喜ばれました。

今後も地域に根付いた活動として継続していきたいと思っています。



広いグラウンド一面に防塵対策を施す

^{*1} 中央区道路環境美化活動(アダプト・プログラム) 道路清掃などの環境美化活動を希望する企業・団体と区役所が覚書を交わして、協働で地域のまちづくりに取り組む制度(アダプト・プログラム) 札幌市では中央区のほか、北・東・白石・豊平・清田・西区で実施。登録要件や手続き方法は区によって異なるため各区のホームページを参照。【お問い合わせ】アダプト・プログラムを実施している区の地域振興課まで [札幌市 アダプト](#)

^{*2} 福祉除雪地域協力員 各区社会福祉協議会に「地域協力員」として申込を行い、高齢の方や障がいのある方など、自力での除雪が困難な方の自宅に訪問し、道路に面した出入口部分や玄関先までの通路部分を除雪する。個人・団体・企業など多くの方が地域協力員として参加している。【お問い合わせ】各区社会福祉協議会まで [福祉除雪地域協力員](#)



杉原建設株式会社

住所 札幌市東区苗穂町10丁目2番1号
業種 建設業 設立 昭和42年
従業員数 48名 認定 2019年11月
<http://www.sugihara647.co.jp/wp/>



地域のために今できることを考え、常に新たな社会貢献に取り組んでいく

★ 地域の未来を支え続ける企業でありたい ★



営業部営業課 課長 長谷部 真貴さん 常務取締役 菅原 伸二さん

誠実と信頼をモットーに 札幌のまちづくりに貢献する

建設業に求められる“まちづくり”の役割は、時代とともに変化していきます。杉原建設(株)は常に地域に必要なとされる企業であり続けるため、町内会や地域団体と積極的に連携しながら、札幌の明るい未来に貢献すべく多様な地域のまちづくり活動に取り組んでいます。



晴れの入学式のために想いをこめて実施する通学路清掃

札幌大谷大学とコラボし、天使病院の小児病棟に寄贈した車いす



タッピーフレンズ

杉原建設(株)は「タッピーフレンズ」の一員です。タッピーフレンズとは、東区役所が実施する事業に参加・協力している企業や団体のことです。

今年度、同じくタッピーフレンズの一員である札幌大谷大学へ「タッピーフレンズのコラボレーションによる新たな取り組み」を提案したことを契機に、協働による地域貢献が実現しました。同社では、平成22年からリサイクル活動で得たポイント的車いすに交換し寄贈する取り組みを続けています。今回のコラボ企画では、同社が寄贈する子ども用車いすに、同大学芸術学部の学生が使用時の怪我防止のため装着するホイールカバーをデザイン。完成したパステルカラーの優しい色使いの車いすは「使用する子どもたちが少しでも元気になるように」という願いがこめられ、天使病院に寄贈されました。



大学生がデザインした車いすホイールカバーとともに寄贈

地域の安全と 美観への取り組み

「東区まち美化プログラム※」参加団体の第1号でもある同社。その活動の一環として毎年新1年生が気持ちよく晴れの日を迎えられるよう、4月の入学式の前に通学路の清掃や雪割りを実施しています。滑り止めの歩行者用砂箱の設置と撤去、保管も行い、冬期間に撒かれた砂を丁寧に清掃して地域の安全と美観を守ります。

平成29年の創立65周年には、記念として東区内の公園に「ソーラー式電波時計」を寄贈しました。公園を利用する子どもたちや保護者から、町内会などを通じて喜びの言葉が届いたそうです。以来毎年寄贈を続け、これまで区内の公園に計38基の時計を設置しています。

地域貢献について「常に新しい取り組みを心がけている」と長谷部さんは話します。「職員のモチベーションを保ちながら、今後も地域のためになることをしたい」と頼もしい一言をくれました。



東区内の多くの公園にソーラー式電波時計を寄贈し設置

POINT

大谷大学と共同制作した オリジナルカードゲーム

東区に関わるメンバーで制作された 「HIGASHIKUホットキープ」

杉原建設(株)が、新しい地域貢献のかたちとして札幌大谷大学の学生と共同制作したオリジナルカードゲーム「HIGASHIKUホットキープ」。企画から完成に至るまで、全て東区に関わるメンバーによって制作されました。小学生も楽しめるシンプルなルールとデザインが特長で、東区にある様々な施設などがモチーフになっています。「学生のアイデアをもとに、クオリティの高いものができたと思います。オリジナリティのある地域貢献活動となって嬉しい」と長谷部さん。カードゲームは今後、小学校や児童会館などを中心に寄贈を進めていく予定です。「HIGASHIKUホットキープ」を通じて地域の方々とコミュニケーションを取りながら、今後の地域貢献活動に活かしたいと考えているそう。菅原常務は「新型コロナウイルス感染症の影響により、室内で過ごす時間が増えています。東区をモチーフにしたこのカードゲームで、より“まち”に親しみを感じてもらえたら嬉しいです」と話しました。



大谷大学の学生と共同制作した「HIGASHIKUホットキープ」

※東区まち美化プログラム

道路清掃などの環境美化活動を希望する企業・団体と区役所が覚書を交わして、協働で地域のまちづくりに取り組む制度(アダプト・プログラム)。札幌市では東区のほか、中央・北・白石・豊平・清田・西区で実施。登録要件や手続き方法は区により異なるため各区のホームページを参照。【お問い合わせ】アダプト・プログラムを実施している区の地域振興課まで



株式会社札幌ドーム



住所 札幌市豊平区羊ヶ丘1番地（札幌ドーム内）
業種 生活関連サービス業、娯楽業 設立 平成10年10月
従業員数 105名 認定 2020年1月

<https://www.sapporo-dome.co.jp/index.html>



札幌ドームが大切に子どもたちに向けた取り組みと地域とのつながり

とよひらまちづくりパートナー

エンターテインメント施設としてだけでなく「地域コミュニティの一員」として精力的に活動する札幌ドーム。近隣小学校の児童などとともに国道36号に沿って並び、黄色い旗を手に交通安全を呼びかける「交通安全街頭啓発活動」や清掃活動のほか、「とよひらまちづくりパートナー※」として様々な企画やイベントに取り組んでいます。また、例年、近隣小学校の5年生をスタンド席と展望台に招待し、施設の紹介や自社の環境に関する取り組みについてレクチャーする活動も実施しています。「自分が住む地域に札幌ドームがあること、展望台から眺めた街並みが綺麗だったことなど、少しでも子どもたちの心に残ると嬉しいです。」と渡辺さんは話してくれました。

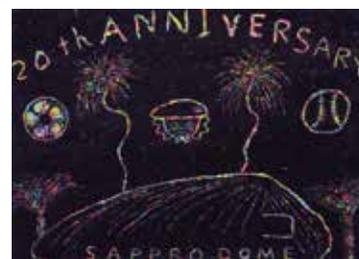


国道36号に沿って黄色い旗が並び「交通安全街頭啓発活動」

子供絵画展

札幌に暮らす皆さんと札幌ドームとの絆が感じられる企画のひとつが「こども絵画展」です。令和3年度は「札幌ドーム開業20周年記念絵画展」兼「第11回こども絵画展」として開催しました。従来は小学生に限っていた応募対象を広げ「小学生の部」「中学生・一般の部」を設定しました。審査員の1人に札幌市立大学名誉教授の上遠野敏氏を招き、専門的な視点での審査がなされました。

応募総数は132点。「札幌ドーム」をテーマに描かれた力作ばかりで、作者の想いが浮かび上がってくるようです。渡辺さんは「どの作品も時間をかけて丁寧に取り組んでくださっていることが感じられ、とても嬉しく思いました。」と話します。20年という歴史の中で育まれてきた地域の方々と札幌ドームとの温かなつながりが、たくさんの作品の中に表現されていました。



小学生の部・札幌ドーム大賞作品『アニバーサリー HANABI』

POINT

札幌ドーム敷地内の豊かな自然を堪能できる企画も

本格的な「野鳥観察会」で地域の魅力を再発見

札幌ドームでは例年「自然観察会」として、昆虫採集や野鳥観察会を実施しています。令和3年度は10月に「コンサドーレ×札幌ドーム Pass 連携企画「秋の野鳥観察会」」を実施し、お子様からご年配の方までたくさんの方が参加しました。

観察会ではドーム敷地内を散策し、専門家のアドバイスのもと双眼鏡を使いながら野鳥を観察していきます。観察時間は70分ほどでしたが、参加者からは「もっと観察を続けたい」という積極的な声もあがったそう。散策の後はスライドで成果を振りかえり理解を深めます。サプライズでドーレ君が駆けつける場面も！観察会はいへんな盛り上がりの中で終了し、午後のコンサドーレ戦もかなりの熱気に包まれていたようです。スポーツ観戦やライブなどで訪れる時には目に入りにくいかもしれませんが、実は札幌ドーム敷地内には自然が広がりその中で暮らす生き物がたくさん。地域の魅力を新たな視点から発見する「自然観察会」は今後も続けられる予定です。



心地よい空気の中で本格的な野鳥観察が楽しめます

※とよひらまちづくりパートナー

地域のまちづくり活動への参加・協力の意欲を持った企業などに、「地域のためにできること」を登録してもらい、「地域のパートナー」として、町内会をはじめとする地域団体の皆さんと一っしょにまちづくり活動に取り組んでもらうことを通じ、多様な担い手によるまちづくりを推進することをめざす取組。
【お問い合わせ】豊平区市民部地域振興課 (TEL:011-822-2427)

とよひらまちづくりパートナー 検索

★ 新たな価値と感動を創造し続ける企業へ ★

エンターテインメントを通じて、常に最高のホスピタリティを

令和3年で開業20周年を迎えた札幌ドーム。多彩な魅力を持つ「夢と感動のステージ」として、国内外の多くの人々を迎え続けています。札幌の皆さんに親しまれる地域の一員として様々な地域活動を行うとともに、「環境にやさしい施設」を目指す取り組みにも注力しています。



経営企画室 経営企画課 渡辺 智香子さん



近隣小学校の5年生をドーム内のスタンド席にご招待し環境学習



市民文化局長表彰



市民文化局長 表彰



新太平洋建設株式会社

住所 札幌市中央区南1条東1丁目2番地1太平洋興発ビル5F
業種 建設業 従業員数 95人
設立 大正14年3月
認定 2019年11月
<http://shintaiheiyoh.com/>



地域環境の
保全・維持・改善に
取り組んでいます



常務執行役員 城戸 寛さん(左) 営業部長 小野寺 巧さん(右)

中央区に本社を移転して10年。 地元のまちづくり活動をメインに取り組む

新太平洋建設(株)は企業市民としてCSR(社会的責任)活動を積極的に展開することを経営方針に掲げています。10年前に豊平区から中央区に本社を移転したことを機に、中央区道路環境美化活動(アダプト・プログラム)に参加して、本社近くの創成川の清掃や凍結路面への砂まきなどを実施しています。また、年間15~20カ所の建設現場周辺で教育施設等のごみ拾いや窓ふきなどを実施するほか、札幌市内全10区の保育・子育て支援センター「ちあふる」へ空気清浄機の寄贈もしています。こうした取り組みを継続し「SDGs」の中で、7分野の取り組みに反映させていきます。今後は担当現場の全てで周辺の学校などへの奉仕活動を広げ、さっぽろまちづくりスマイル企業のシルバー表彰を目指したいと思っています。



本社近くのさっぽろテレビ塔付近を清掃する

市民文化局長 表彰



株式会社札幌ロードメイク

住所 札幌市北区篠路町拓北6番125
業種 建設業 従業員数 15名
設立 平成15年3月
認定 2019年11月
<http://www.sapporo-road-make.jp/>



地域全体の交通安全
意識を高める活動を
推進しています。



代表取締役 庄子 直美さん

街頭交通安全啓蒙活動や地域清掃を 継続し、交通事故ゼロを目指します

札幌ロードメイクは、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。そのひとつが、交通量が多く頻繁に事故が起きている幹線道路で、目立つユニフォームを着用しての街頭交通安全啓蒙活動です。この道路には落下物も多いことから、未然の事故防止のために清掃活動も続けています。「事故の発生件数も、活動を始めた当初より減少傾向です。さらに継続させることで、近隣の企業にも活動を広げ、地域全体の交通安全意識の向上に繋がっていきたいです」(庄子さん)。他にも、地域住民に道路や公園を気持ちよく安全に使ってもらいたいとの思いで、平成27年から公園ボランティアなど、さまざまな地域貢献活動にも取り組んでいます。



街頭交通安全啓蒙活動を定期的に行っています

市民文化局長 表彰



いさみ 勇建設株式会社

住所 札幌市中央区北6条西14丁目4番地
業種 建設業 従業員数 96名
設立 昭和31年4月
認定 2019年11月
<http://www.isami-con.co.jp>



地域環境美化活動に
関連する活動に力を
入れて取り組んでいます



代表取締役社長 坂 昭弘さん

社会基盤整備を通じて地域社会の 発展に貢献し、末永く愛される企業に

勇建設(株)は「豊かな自然を大切に、地球環境の保全への貢献」をめざし、さまざまなまちづくり活動に取り組んでいます。そのひとつが、勇建設コミュニティーガーデンプロジェクトです。「桑園エリアで恩返しをしたい」との思いから、平成27年より本社前の歩道植樹帯5カ所に花壇を開設しました。「地域の方にも管理に参加協力いただき、コミュニケーションの場にもなっております。コミュニティーガーデンを始めたことにより、会社と地域の結びつきが以前より強固になったように感じられ、地域交流の重要性を再確認することができました」(坂さん)。会社と地域とで協力した花苗はすくすくと育ち、地域の方々の目を楽しませ、交流の場としても親しまれています。



種から育てた花を歩道植樹帯へ植え社員全員で大事に育てています

市民文化局長
表彰



株式会社田中組

住所 札幌市中央区北6条西17丁目17番地5
業種 建設業 従業員数 165名
設立 昭和23年(創業 明治35年)
認定 2019年9月
<https://www.tanakagumi.co.jp>

全役職員で継続実施
できる社会貢献について
日々考えています

総務部 高橋 若那さん



毎年春から秋にかけて
桑園地区の清掃活動に励んでいます

自然環境との調和・共生、自然災害などの
課題に対し、責任を果たす企業に

㈱田中組は、お世話になっている近隣住民や地域に対する恩返しとして、さまざまな社会貢献活動を行っています。そのひとつが、平成21年より継続している中央区道路環境美化活動(アダプト・プログラム)での清掃活動です。「活動が近隣の住民にも認知され始め、感謝の言葉をかけられる機会が多くなりました。社会貢献を継続して行うことで、社員一人一人の意識も変わり、新たに活動できることはないかと日々考える機会が増えました」(高橋さん)。また「株式会社田中組役員交通遺児を守る会」を設立し、交通遺児に対する義援金の贈呈を昭和50年から続けています。札幌市への寄付総額は2,100万円を越え、交通事故により生活困窮に陥ったご家庭や交通遺児への学業支援に活かされています。

市民文化局長
表彰



荒井建設株式会社 札幌支店

住所 札幌市豊平区平岸4条2丁目7番10号
業種 建設業 従業員数 45名
設立 明治27年11月(札幌支店は昭和11年)
認定 2020年1月
<https://www.araikensetsu.co.jp>

地域への愛着を持ち
SDGsの理念を日々の地域
貢献活動で実践する

総務部 藤岡 秀満さん



地域のために心を込めて実施する
八条中学校周辺の清掃

創始の精神「感謝と奉仕」を忘れず
地域の豊かで快適な生活を支える一役を

豊平区内の道路など公共物に対して、市民が主体的に環境美化に取り組む「豊平区アダプト制度」。荒井建設(株)札幌支店は、制度創設時から活動団体の一員として、八条中学校のグラウンド・校舎周辺のごみ清掃や豊平川の清掃など、積極的な取り組みを続けています。他にも交通安全街頭啓発「旗の波」への参加や、災害時配布用の小型ライトの備蓄など、様々な角度から地域を支えています。職員にとって「地域貢献」は生活に根付いたもの。毎日出勤時には自主的にごみを拾い、外勤時には「札幌市地域安全サポーターズ」として地域を見守ります。藤岡さんは「地域の方との挨拶や会話が、職員の喜びや励みになっています」と笑顔を見せてくれました。

市民文化局長
表彰



だいどう ほどう
大同舗道株式会社 All-way's CONSULTANT DAIDO

住所 札幌市中央区北2条東17丁目2番地
業種 建設業 従業員数 64名
設立 昭和48年
認定 2019年12月
<https://daido-hodo.com>

創業時からのモットー
「親切・丁寧・迅速」を
心に地域を守る

代表取締役社長 横平 聡さん(上) 企画営業部企画営業課係長 西川 和憲さん(下)



駐車場スペースのライン引きは心を込めて一本一本丁寧に

北海道の豊かで快適な暮らしづくりの
ために地域貢献を積み重ねていく

大同舗道(株)では、道路や公園の清掃、歩道植樹帯への花植えなど環境美化活動のほか、舗道修繕や学校のグラウンド・避難経路の除排雪など社会貢献活動に取り組んでいます。中央区道路環境美化活動(アダプト・プログラム)に参加し、平成21年から継続して精力的な清掃活動を実施しています。今年度はお世話になっている地域への恩返しとして、新川まちづくりセンター駐車場のライン引きを実施しました。利用者が安全かつ快適に利用できるよう駐車場スペースに車10台分のラインを引き、駐車場には自転車マークを施工して事故防止対策を行いました。新川さくら並木連合町内会からは感謝状が贈られ、横平社長と西川さんは「少しでも利用者の安全につながれば嬉しい」と話しました。

市民文化局長
表彰



まるひこ わたなべ
丸彦渡辺建設株式会社

住所 札幌市豊平区豊平6条6丁目5番8号
業種 建設業 従業員数 480名
設立 昭和23年8月 株式会社改組(創業 大正7年)
認定 2019年12月
<http://www.maruhiko.co.jp>

引き継がれている伝統
ある社会貢献活動を
継続させます

代表取締役 岡本 啓治さん(上) 管理本部総務人事部総務グループ課長 松原 治郎さん(右)

強い意志と行動力で企業価値を高め、
永続的に豊かな社会づくりに貢献します

丸彦渡辺建設(株)は、地域住民の安全・安心の確保や環境保全・文化活動として、さまざまな社会貢献活動に取り組んでおり、そのひとつが、植樹(育樹)活動です。「平成23年から1,800本の苗木を植樹、毎年下草刈りを実施し、森を育てています」(松原さん)。
令和3年度は老朽化により傷んでいた「学園前えきひろば」のサークルベンチを、木の粉末を混ぜた樹脂製の腐食しづらい新しい座板に交換しました。現在は、地域住民の憩いの場として安全に利用されています。平成28年開設の本社1階ロビーにある「まるひこアートスペース和(なごみ)」は、若手芸術家の作品展示会やミニコンサートが毎年開催され、地域に開かれた空間として活用されています。



「学園前えきひろば」設置サークルベンチの座板交換